

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	神林久雄
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	10672 道路改良事業（活力創出基盤）						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06033500 橋や道路整備の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費					
	事業	020000 道路改良事業（活力創出基盤）					
事業目的				事業概要・効果			
社会資本整備総合交付金の活力創出基盤事業を活用し、幹線道路を重点に整備することにより、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。				幹線道路は国道や県道及び学校、病院、産業団地等の公益施設並びに地域に形成されているコミュニティ相互を連絡し、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
①沼目南沖線 L = 460m、用地・補償②幸高福島線 工事 L = 105m、補償③須坂駅南原線 L = 670m	①須坂駅跨線橋線歩道橋長寿命化修繕②沼目南沖線事 L = 325m、用地・補償③幸高福島線 L = 112m ④須坂駅南原線 L = 789m⑤亀倉北原線用地・補償
平成24年度 実績	平成25年度 実績
①亀倉北原線 L = 772m②沼目南沖線 L = 160m、用地・補償③幸高福島線 L = 340m ④村山八町線 L = 440m⑤臥竜橋橋梁長寿命化修繕	①沼目南沖線 L = 45m②幸高福島線 L = 473m③村山八町線 L = 245m④臥竜橋等橋梁長寿命化修繕⑤高梨宮川八重森線踏切道設計委託・用地・補償・工事⑥米持東中学校線測量・詳細設計委託・用地・補償・工事⑦園芸高校井上線 用地・補償・工事
平成26年度 実績	平成27年度 予定
①村山八町線 L = 300m②坂田原滝ノ入線 L = 200m③夏端橋等橋梁長寿命化修繕④高梨宮川八重森線踏切道 工事委託L=40m⑤米持東中学校線L=420m⑥園芸高校井上線L=243m用地・補償⑦常盤町下八町線 測量・設計委託L=480m	①西口線 L = 150m②坂田原滝ノ入線 L = 300m③宮坂橋等橋梁長寿命化修繕④園芸高校井上線L=100m用地・補償⑤常盤町下八町線 L = 100m、用地・補償

指標名	改良・修繕事業延長					
算式					単位	m
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標				650	
	実績	1,226	1,712		1,683	
指標選定の理由	緊急度及び財源等から事業実施計画を策定					
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出					
指標名						
算式					単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		148,965	251,150
特定財源	国庫支出金	83,095	138,050
	都道府県支出金	0	0
	地方債	67,580	99,600
	その他	0	0
一般財源		△1,710	13,500
人員数(人)	正規職員	1.9	2.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	13,030.2	16,459.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	13,030.2	16,459.2
市民一人当たりの経費		3.1	5.1
総額		161,995.2	267,609.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	13,504	
15節 工事請負費	110,427	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	25,034	立木等補償

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	55,040	測量・設計委託
15節 工事請負費	133,050	改良・修繕工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	63,060	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	活力ある地域づくりと交通体系の充実および交通網の強化が図られる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地元要望・緊急度等から優先順位を決め整備。安心安全な市民生活の確保が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	現地踏査等によりコスト縮減を検討し整備を実施。事業は国の交付金を活用し実施。受益者負担金は過去の経過等から困難と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
実施計画どおりに事業は順調に進捗している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き関係地権者と用地取得や補償物件について交渉し、随時調印を行う。 工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		交通渋滞の緩和、通行の安全を確保するために、財源の確保と計画的な整備を進める	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	